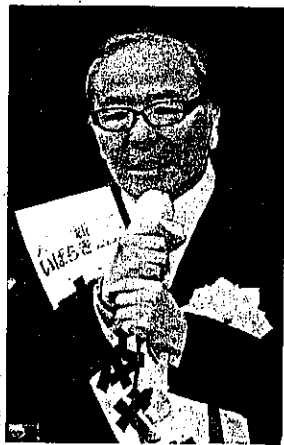


市議補選も

活性化・行財政改革が争点 茨木市長選が告示

立候補者 候4、届け出順

木本 保平 67 無所属新



①大阪維新の会いばらき副支部長、市柔道連盟会長、清掃会社員②清掃会社社長、自民党市支部長、市会議長③関西大文学部④茨木市⑤茨木市下穂積

山下 慶喜 59 無所属新



①新社会党府本部委員長②市会副議長、府議秘書、衆院議員秘書、淀川キリスト病院職員③同志社大法学部④鹿児島県⑤茨木市平田台

桂 睦子 43 無所属新



①前市議②地方議員ネットワーク団体全国共同代表、フィリピン支援NGO代表、服飾メーカー社員③大阪体育大体育学部中退④茨木市⑤茨木市上泉町

吉野 宏一 44 無所属新



①医師②医療関連会社社長、整形外科クリニック経営、肢体不自由児施設医師、関西医科大学付属病院医師③金沢医科大学医学部④神戸市⑤茨木市大手町

△表の見方▽氏名、投票日現在の年齢、所属党派、新旧、略歴は四角囲み文字が推薦・支持
政党①現職・代表的肩書②経歴③最終学歴④出身地⑤現住所

市職員の給料カット

木本候補は、地域政党・大阪維新の会の府議や自民党の松浪健太衆院議員（比例近畿）、倉田哲郎・箕面市長らが応援に駆けつける中、市役所近くの茨木神社で出陣式に臨んだ。「市役所のための政治ではなく、市民のための政治を必ずやってみせる」と第一声。市職員の給料10%削減や職員数を見直すとし、「公務員改革をする。給料を減らし、浮いた財源で茨木を元気にする。地域経済を活性化させ、税収を増やす」と述べた。

震災がれき搬入反対

山下候補は、スポーツウエアに運動靴姿で、阪急茨木市駅西口前に登場。市民の服部良一衆院議員（比例近畿）らとともに選挙力に上がった。第一声では32年の市議としての経験を強調。脱原発や市民目線の市政を掲げ、「公約の7割は議会で質問したこと。実現のために選挙を戦い抜きたい」と力を込めた。福島第一原発事故で放射能汚染された震災がれきについて、「茨木に持ち込ませない」とした。支持者6人と走って同駅前を出発。午前は市センターをランニングで巡り、午後には選挙カーで大型商業施設などを回った。

市民力・地域力生かす

桂候補は、阪急茨木市駅西口前で野村宣二市長や民主党の大谷信盛衆院議員（大阪9区）らと並び、第一声を上げた。「住んでよかった」と思える茨木を、若さと行動力、市民の皆さんとつくりたい」と強調。公約には市長報酬30%カットや退職金半減に加え、小学校区単位での市長タウンミーティング開催を掲げている。市の税収が落ち込む現状を指摘したうえで、「市民力、地域力が必要だ。市民の力をコーディネートする市役所に作り替えたい」と訴えた。選挙カーで市内を一巡し、夕方から街頭演説や個人演説会を行った。

全市民の命を大切に

吉野候補は、JR茨木駅西口前で、医師として治療した元患者らの応援を受け、マイクを握った。「駅前再開発をこのまま放置すれば、大手企業の工場が撤退していくだろう。茨木の未来に向けて再構築しなければならぬ」と主張。公約には、医師不足の解消や看護師の育成など医療の充実や、独り暮らしの高齢者の食事に対応する給食センターの設置などを挙げている。「子どもからお年寄りまで市民の命を大切にする街づくりに取り組み」と述べた。この後、スポーツウエアに着替え、自転車で住宅地や商店街を巡った。

市議補選立候補者 候4（届け出順）



大嶺さやか40 共新 党地区委員
委員 茨木民
主商工会職員
長谷川 浩49
無新 維新の
会副支部長
広告会社員
中森 朝雄70
無新 薬剤師
団労組役員、
中学校教諭
辻 由起子38
自新 育児支
援講師 市教
委臨時職員

△注▽氏名、投票日現在の年齢、所属新旧、現職、主な経歴の順